

城南学園第三更生部・地域連携推進会議 会議録

事業所名	城南学園 第三更生部
開催日時	令和7年9月25日(木) 10:00~11:50
開催場所	第三更生部 会議室
参加者	<p>【地域連携推進員】6名 利用者代表:1名、利用者家族代表:1名、地域の関係者:1名、福祉に知見のある人:1名、市町担当者:2名</p> <p>【施設職員】4名 園長、施設長、課長補佐、主任</p>
議題	会議内容
1 園長挨拶	・園長より、開会のあいさつ
2 出席者紹介	・名簿順に出席者全員が自己紹介
3 議題 (1)~(5)	<p>○各議題について、施設長が説明(パワーポイント、資料等)</p> <p>(1) 会議の目的と役割 ・会議の目的と構成員の役割等について説明</p> <p>(2) 施設の紹介 ・第三更生部の施設紹介(施設の沿革) ・主な障害福祉サービス(生活介護・施設入所支援・短期入所) ・施設の利用状況、入所要件、経営状況等について説明</p> <p>(3) 利用者の日常生活 ・施設の1日の流れについて説明</p> <p>(4) 利用者の権利擁護 ・虐待の状況報告と防止対策 ・第三更生部の虐待の状況(令和6年度) ・虐待防止対策の取組み等について説明</p> <p>(5) 地域との連携 ・令和7年度地域ふれあいデー(案)について説明</p>
4 質疑応答	<p>・虐待の説明で経済的虐待の話があったが、利用者さんのお金の管理はどうしているのか。管理上、制限することはあるのか。</p> <p>⇒各寮の支援員が管理しているが、できるだけ、利用者の希望に添うように対応している。同じものを何度も買うことは、本人と相談して購入は控えるようにしている。</p> <p>・法人の会計については、各部ごとになっているのか。例えば、グループホーム</p>

	<p>の会計で赤字が出たとしたら、ほかの事業所でカバーすることになるのか。 ⇒部ごとの会計になっており、グループホームの会計は、第三更生部の会計に計上されており、6年度決算では、トータルで差引額が約2千6百万円の黒字となっている。</p> <p>・虐待防止についての意見です。学校の場合、虐待は、体罰という言い方をする。支援学校でもASD（自閉スペクトラム症）のお子さんは、パニックや行動問題への指導が難しく、体罰にならないように気を付けなければならない。障害特性、本人の困難さに応じた配慮をすれば、自ずとパニックや行動問題が減ってくる。また、本人の強みに合わせた指導や支援ができれば、想像以上に力を発揮できる。支援学校でも職員が本人の特性を理解することで、支援がしやすくなっている。</p> <p>・ASD支援には、「構造化」がよく言われるが、「構造化」とは、「構造を明確にする」ということである。構造化（構造明確化）は、刺激に翻弄されやすいASDの人たちの困難さを補い、周囲からの情報や物事の意味をわかりやすく伝える作業をいう。</p> <p>・パニックや行動問題も原因が何か分かれば対策ができる。本人の特性を理解し、原因への対策を講じることが、虐待防止につながると思う。</p>
5 施設見学	<p>・施設内の各寮巡回（ゆり寮 →ひばり寮 →あやめ寮）</p> <p>・さくら寮は、園外支援のため巡回はしない</p>
6 意見交換 (見学終了後)	<p>・日中活動は、どこの場所で行うのか。 ⇒居室内でやることもあるが、天気の良い時は、外でやることもある。</p> <p>・先ほど、グループホームの話が出たが、日中一時支援事業のように、採算が取れない事業もやらなければならないこともある。行政からの継続の要望もあるので、続けたいと思う。</p> <p>⇒行政としても、引き続き支援していきたい。</p> <p>・支援学校では、「自立課題」に取り組んでいる。「自立課題」とは、視覚的な手がかりを見本にして、視覚的な指示に従い、誰の手助けも借りずに、自分一人だけの力で「始め」てから「終わる」ことができる「自立的に行う」課題のことである。支援学校を卒業後、学園に通所や入所する際に、その自立課題を学園に持参することは可能か。本人の特性にハマる課題があり、ワークシステムと組み合わせれば、1時間くらいは、自立的に作業できる。事業所にとっても、生活介護で役に立つと思う。</p> <p>⇒それは良いと思う。よろしくお願ひしたい。</p> <p>・城南地域の代表者として、利用者や職員との交流する機会があったらいいと思う。例えば、清掃活動をやるとかという案も出ている。</p> <p>⇒それはありがたいこと。今後、地域の交流目的の清掃作業も考えていきたい。また、地域との交流イベント（別紙資料）として、11月15日に「地域ふれあいデー」(案)を考えているので、具体的な内容が決まったら、保護者や地域の方に案内を出していきたいと思う。</p>

	<ul style="list-style-type: none">・長い間、交流の場がなかったので、保護者と職員が接触する機会がなくて、職員との距離が開いていると感じている。昔は、寮の中に入って、いろんな交流ができていた。他の子どもたちと交流ができれば、職員との距離も縮むかなと思う。保護者は、虐待のことも気になっているが、声を出して言えない状況にある。(施設で面倒を見てもらっているから) 言いたいことが、ちゃんとと言える環境づくりを整備してほしいと思う。・支援現場を訪問することができて、大変参考になった。支援現場では職員の皆さんが、いろいろ工夫されていると思う。交流ができて良かった。夜勤者は一人だと聞いたが、ひとりでは、仕事としてきついなという気がした。
--	---